

令和2年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの進路を保障する教育課程を編成するとともに、高いレベルの学力（思考力・判断力・表現力）を育成する。 ②生徒会活動や学校行事を活性化させ、自主性や主体性を育む。	①確かな学力をつけるために、生徒が自ら課題を発見し、解決する力を育む観点から、教科等の学習支援に取り組む。 ②学校生活の充実を図るために、生徒の主体的で自発的な行事での活動を支援する。	①主体的、対話的な深い学びの実現に向けた授業改善をとおして、各教科において創意工夫を生かした教育活動を展開する。 ②学校行事の遂行にあたって、生徒一人ひとりの責任感や連帯感を涵養し、望ましい人間関係を築いていく。	①学力向上に資する主体的、対話的な深い学びを確立し、教科横断的な授業改善を進めることができたか。 ②学校教育活動として、生徒会活動や各種行事の活性化が図れたか。
2	生徒指導・支援	①部活動を活性化させると同時に学習との両立を図る。 ②豊かな人間性を涵養するとともに、個に応じた支援体制を構築する。	①適切な休養日を設けるなど指導計画を作成し、特に定期試験前の活動には制約を設ける。 ②臨時休業に伴う生徒のストレス軽減の方法を模索し、安心感のある学校生活が送れるよう支援する。	①休養日の取得状況を把握し、夏季講習や定期試験期間の活動状況を把握する。 ②学年会、生徒情報交換会議、生徒アンケート等を活用して生徒理解を深める。スクールカウンセラーを有効に活用する。	①休養日が設定され、夏季講習や定期試験の学習時間が確保されていたか。 ②2か月に1度は生徒情報交換会議を行ったか。スクールカウンセラーを十分に活用できたか。
3	進路指導・支援	①探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。 ②キャリア教育を充実させ、生徒の第一志望の進路実現を支援する進路指導を推進する。	①自身と社会のつながりに目を向け、他者と協働しながらよりよい社会を切り拓くための主体性と協調性を育む。 ②キャリア教育の視点から、適切な進路指導を行い、生徒の進路希望の実現をめざす。	①教科指導および「総合的な探究の時間」を通して、教科横断的・総合的に探究する過程を繰り返し経験させる。 ②職員研修を実施し、模擬試験や合否結果等のデータの分析方法や活用方法を研究するとともに、生徒および保護者に対して高い目標を維持し、努力する意識啓発を行う。	①探究課題に対して主体的・協働的に取り組むとともに、探究手法を身に付け、適切に表現できたか。 ②国公立大学現役合格者数 40 人以上を達成したか。難関私立大学（早稲田・慶應義塾・上智・東京理科）合格者数 60 人以上を達成したか。
4	地域等との協働	①学校運営協議会を活性化するとともに、家庭、地域、学校間、校種間、企業等との連携を図る。 ②教育活動の情報を積極的に発信する。	①地域防災活動など地域との協働の機会を活用し、地域から期待される学校としての役割を果たす。 ②ホームページを一層充実させ、本校の取組を紹介する広報活動を積極的に行う。	①学校運営協議会などから地域等と生徒の協働に関する情報提供を受けた時には、積極的に参加を促し、地域連携を推進する。 ②教育活動や部活動などにおける生徒の活躍を積極的に広報する。	①他校種や市、地域等のイベントや防災活動などへ生徒は積極的に参加し地域貢献等できたか。 ②ホームページや学校説明会などを通じた情報発信にさらに充実させることができたか。
5	学校管理 学校運営	①教員のワークライフバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。 ②安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。	①年次休暇の年平均取得日数は、15 日以上とする。 ②生徒が学校環境の美化に主体的に取り組む気持ちを育てる。 ③耐震補強工事に向けて、学校環境整備や安全確保に努める。	①仕事の効率化を進め、年次休暇を取得しやすい環境を作る。 ②地域清掃活動をはじめ、大掃除や日常清掃、行事の後片付け等において、美化意識を育てる。 ③様々な教室の整理整頓を推進する。 ・耐震補強工事に関する情報を職員、生徒・保護者に周知する。	①年次休暇平均取得日数は前年度より増加したか。 ②年間を通じて学校環境の美化に努めることができたか。また、多くの生徒が主体的に取り組めたか。 ③校内設備や耐震補強工事等の関係で、事故怪我なく学校が運営されたか。

「教育目標・教育方針・中長期的な方針など」
 21 世紀を生き抜く、知・徳・体ともにそなえた円満にして実践力のある人材を育成する。
 ○生徒の第一志望の進路実現に向けた高いレベルの学力を育成する。
 ○生徒会活動や学校行事を通して主体性や自主性を育む。
 ○部活動と学習の両立を図るとともに自己肯定感や規範意識、他者を思いやる心を育て豊かな人間性を涵養する。
 ○個に応じた支援体制を構築する。
 ○探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。
 ○将来社会に貢献する人材を目指し、キャリア教育を充実させる。
 ○家庭、地域、学校間、校種間、企業等と連携した学校づくりを行うとともに、積極的な情報発信を行う。
 ○教員のワークライフバランスを推進するための教員の働き方改革を推進する。
 ○安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。